

脳神経外科 高木医師 紹介



脳神経外科医 高木修一 2024年4月1日より勤務

【診療対象となる傷病】

- ・頭部外傷
- ・脳血管障害(脳出血やくも膜下出血、重篤な脳腫脹を伴う脳梗塞など)
- ・脳腫瘍
- ・器質的神経障害(三叉神経痛、片側顔面痙攣など)
- ・頭痛
- ・てんかん(特に症候性てんかん)など

以前から、都市部に脳神経外科医が集中し周辺地域には少ない状況でしたが、これは救急対応や手術治療に対してチーム医療が必要なためと考えられます。重篤な症状の外傷や脳血管障害の患者さんは熊本市内の高次医療機関に搬送されることが多く、治療に急を要しないような傷病の患者さんも熊本市内の専門医を受診することが多いのではないかと考えます。

熊本市内まで行く気にはならないが心配だという、頭部外傷、頭痛、手足のしびれ、ふらつきなどが当科での診療対象となっているようです。頭部外傷に関しては、近年、放射線被曝の問題もあり、小児・未成年者にはできるだけCTなどの検査は控えるようになっており、専門医としての経験則も重要性を増しています。当科では年齢制限はせずに新生児から高齢者まで受診してもらっています。

また、無症候性の脳梗塞、脳出血、未破裂脳動脈瘤、脳腫瘍などの診断や個々のリスクに応じた治療を行っています。

今は何でも病気が見つかったからといって、すぐに積極的治療を行う時代ではなくなっています。多くの方が比較的容易にMRIなどの精査を受けられるようになったため、多くのデータを元に統計的手法で治療法を決めることが多くなっています。当科的な傷病が心配な方は御相談下さい。



毎日自転車で通勤しています